

令和2年度

国土交通省  
公共交通・物流政策関係

予算概算要求概要・税制改正要望

令和元年8月

公共交通・物流政策審議官



# 目 次

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 令和2年度 公共交通・物流政策審議官部門関係 予算概算要求総括表..... | 1 |
|---------------------------------------|---|

|                   |   |
|-------------------|---|
| 1. 概算要求の基本方針..... | 2 |
|-------------------|---|

## 2. 概算要求に係る主要施策

### (1) 豊かで暮らしやすい地域づくりを支える足の確保

|                                          |   |
|------------------------------------------|---|
| ・地域主導の交通サービスの確保・充実に対する支援 <b>拡充</b> ..... | 3 |
| ・被災した公共交通の復興の支援【復興庁一括計上予算】 .....         | 4 |
| ・交通政策基本計画に基づく交通政策の総合的な推進 .....           | 5 |

### (2) 最新技術の活用による次世代モビリティの実現・物流の効率化の推進

|                                                                  |    |
|------------------------------------------------------------------|----|
| ・日本版 MaaS の推進による地域や観光地の移動の利便性向上 <b>拡充</b> .....                  | 6  |
| ・サプライチェーンの最適化に向けた物流・商流データ基盤の構築等<br>（戦略的イノベーション創造プログラム：SIP） ..... | 7  |
| ・過疎地域等における無人航空機を活用した物流の実用化 <b>新規</b><br>【環境省連携施策】 .....          | 8  |
| ・物流生産性向上の推進 <b>拡充</b> .....                                      | 9  |
| ・関係者の連携協働による物流の効率化（バス予約調整システムの導入支援）<br>【環境省連携施策】 .....           | 10 |
| ・効率的な輸送モード等への転換【環境省連携施策】                                         |    |
| i) 高品質低炭素型鮮度保持コンテナ等の導入支援 .....                                   | 11 |
| ii) 連結トラックの導入支援 .....                                            | 12 |
| iii) スワップボディコンテナ車両の導入支援 .....                                    | 13 |
| iv) 冷凍冷蔵倉庫への省エネ型自然冷媒機器の導入支援 .....                                | 14 |
| v) 自立型ゼロエネルギー倉庫モデルの導入支援 <b>新規</b> .....                          | 15 |

### (3) 交通・物流ネットワークの一層の充実

|                                                              |    |
|--------------------------------------------------------------|----|
| ・アジアを中心とした質の高い物流システムの構築・国際標準化の推進 .....                       | 16 |
| ・パイロット輸送や政策対話による物流産業の海外展開支援<br>【国際政策課・海外プロジェクト推進課連携施策】 ..... | 17 |
| ・手ぶら観光カウンターの整備・機能強化の支援【観光庁連携施策】 .....                        | 18 |
| ・物流分野における高度人材の育成手法の開発【国土交通政策研究所連携施策】 .....                   | 19 |
| ・災害に強い物流システムの構築 .....                                        | 20 |

## 3. 税制改正要望

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| ・物流総合効率化法の認定計画に基づき取得した事業用資産に係る特例措置の延長 .. | 21 |
|------------------------------------------|----|

# 令和2年度 公共交通・物流政策審議官部門関係 予算概算要求総括表

## 【一般会計】

(単位:百万円)

| 事 項                                                                                            | 令和2年度<br>要 求 額<br>(B) | 平成31年度<br>予 算 額<br>(A) | 比較<br>増減率<br>(B/A) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------|--------------------|
| <u>(1)豊かで暮らしやすい地域づくりを支える足の確保</u>                                                               |                       |                        |                    |
| ・地域主導の交通サービスの確保・充実に対する支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>      | 26,441                | 22,005                 | 1.20               |
| ・交通政策基本計画に基づく交通政策の総合的な推進                                                                       | 35                    | 30                     | 1.17               |
| <u>(2)最新技術の活用による次世代モビリティの実現・物流の効率化の推進</u>                                                      |                       |                        |                    |
| ・日本版MaaSの推進による地域や観光地の移動の利便性向上 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span> | 1,000                 | 306                    | 3.27               |
| ・物流生産性向上の推進 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>                   | 100                   | 37                     | 2.70               |
| <u>(3)交通・物流ネットワークの一層の充実</u>                                                                    |                       |                        |                    |
| ・アジアを中心とした質の高い物流システムの構築・国際標準化の推進                                                               | 20                    | 17                     | 1.18               |
| ・災害に強い物流システムの構築                                                                                | 17                    | 13                     | 1.31               |
| その他(庁費、監査旅費等)                                                                                  | 158                   | 34                     | 4.65               |
| 合 計                                                                                            | 27,771                | 22,442                 | 1.24               |

## 【関連事項】

(単位:百万円)

| 事 項                                                                                                      | 令和2年度<br>要 求 額<br>(B) | 平成31年度<br>予 算 額<br>(A) | 比較<br>増減率<br>(B/A) |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------|--------------------|
| <u>(1)豊かで暮らしやすい地域づくりを支える足の確保</u>                                                                         |                       |                        |                    |
| ・地域主導の交通サービスの確保・充実に対する支援(産業投資)                                                                           | 10<br>(産業投資)          | —                      | 皆増                 |
| ・被災した公共交通の復興の支援【復興庁一括計上予算】                                                                               | 722                   | 926                    | 0.78               |
| <u>(2)最新技術の活用による次世代モビリティの実現・物流の効率化の推進</u>                                                                |                       |                        |                    |
| ・サプライチェーンの最適化に向けた物流・商流データ基盤の構築等<br>(戦略的イノベーション創造プログラム:SIP)                                               | 28,000の内数             | 28,000の内数              | —                  |
| ・過疎地域等における無人航空機を活用した物流の実用化 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span><br>【環境省連携施策】 | 350                   | —                      | 皆増                 |
| ・関係者の連携協働による物流の効率化(バス予約調整システムの導入支援)<br>【環境省連携施策】                                                         | 115                   | 115                    | 1.00               |
| ・効率的な輸送モード等への転換【環境省連携施策】                                                                                 |                       |                        |                    |
| i)高品質低炭素型鮮度保持コンテナ等の導入支援                                                                                  | 200                   | 400                    | 0.50               |
| ii)連結トラックの導入支援                                                                                           | 850の内数                | 250の内数                 | —                  |
| iii)スワップボディコンテナ車両の導入支援                                                                                   | 850の内数                | 250の内数                 | —                  |
| iv)冷凍冷蔵倉庫への省エネ型自然冷媒機器の導入支援                                                                               | 7,500の内数              | 7,500の内数               | —                  |
| v)自立型ゼロエネルギー倉庫モデルの導入支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span>                  | 1,550                 | —                      | 皆増                 |
| <u>(3)交通・物流ネットワークの一層の充実</u>                                                                              |                       |                        |                    |
| ・パイロット輸送や政策対話による物流産業の海外展開支援<br>【国際政策課・海外プロジェクト推進課連携施策】                                                   | 2,072の内数              | 1,697の内数               | —                  |
| ・手ぶら観光カウンターの整備・機能強化の支援【観光庁連携施策】                                                                          | 6,003の内数              | 5,474の内数               | —                  |
| ・物流分野における高度人材の育成手法の開発<br>【国土交通政策研究所連携施策】                                                                 | 12                    | 11                     | 1.09               |

注1) 端数処理のため、計算が合わない場合がある。

注2) このほか、物流生産性向上の推進(財投機関未定:500百万円)がある。

## 1. 概算要求の基本方針

- 我が国の公共交通・物流は、大都市から地方まで張り巡らされたネットワークとそこで提供される多様なサービスを通じて、国民生活の質の向上や経済の成長・活性化を支えているが、人口減少の本格化や超高齢社会の到来等の社会の構造的変化により、地域の足の確保や交通・物流事業における労働力の確保など、これまでになく深刻な課題に直面している。特に、昨今の高齢者の運転による交通事故の多発は、高齢者も利用しやすいモビリティを提供すべき必要性をあらためて浮き彫りにしており、国として、制度的な枠組みの見直しを進めながら、地方公共団体をはじめとする地域の関係者や関係業界と連携してこれら課題の解決に取り組んでいくことが求められている。
- また、交通・物流の分野では、AI、IoT等の情報通信分野における技術革新や高性能な携帯端末の普及をサービスの利便性や効率性の抜本的な改善に活用することが可能となっており、MaaS(マース：Mobility as a Service)のように、既に海外などで先駆的な取組が行われる事例も現れている。我が国においても、新たな技術を積極的に活用して利便性の高い次世代モビリティの実現や物流の効率化を推進し、前述の課題の解決にもつなげていくことが重要である。
- このほか、交通・物流のネットワークやサービスは、訪日外国人旅行者の急増、アジア諸国などの経済成長に伴うグローバル物流需要の拡大、自然災害の頻発・激甚化などの様々な環境変化のそれぞれに適切に対応しながら、地域社会や日本経済の中で求められる役割を的確に果たしていくことが必要である。
- このため、「交通政策基本計画」(平成27年2月13日閣議決定)及び「総合物流施策大綱」(平成29年7月28日閣議決定)を踏まえつつ、「豊かで暮らしやすい地域づくりを支える足の確保」、「最新技術の活用による次世代モビリティの実現・物流の効率化の推進」及び「交通・物流ネットワークの一層の充実」を進めることを目的として要求を行う。

### 【要求の観点】

#### 1. 豊かで暮らしやすい地域づくりを支える足の確保

人口減少や高齢化が進む各地において豊かで暮らしやすい地域づくりの取組を支えるため、住民生活や地域活性化に不可欠な交通サービスの確保を図る。

#### 2. 最新技術の活用による次世代モビリティの実現・物流の効率化の推進

AI、IoT等の最新技術を活用することで、観光地も含め都市・地方の各地で利便性の高い次世代モビリティの導入を促進するとともに、深刻な人手不足に直面している物流について一層の効率化を推進する。

#### 3. 交通・物流ネットワークの一層の充実

ヒト・モノの国内地点間及び国内・海外間におけるスムーズかつ効率的な移動を支える交通・物流ネットワークについて、利用者や荷主のニーズに対応した質的充実や災害に対する強靱化等に取り組む。

## 2. 概算要求に係る主要施策

### (1) 豊かで暮らしやすい地域づくりを支える足の確保

- 地域主導の交通サービスの確保・充実に対する支援 **拡充**  
(地域交通課)

要求額 26,441百万円

#### 【趣 旨】

地域の多様な主体の連携・協働による、地域の暮らしや産業に不可欠な交通サービスの確保・充実に向けた取組を支援する。

なお、そのような取組を促進するための計画・支援制度等のあり方について、地域公共交通活性化再生法などの見直しを検討する。

#### 【内 容】

##### (1) 地域の実情に応じた生活交通の確保維持

- ① 高齢化が進む過疎地域等の足を確保するためのバス、デマンドタクシー等の運行
- ② バス車両の更新、貨客混載の導入等
- ③ 離島航路・航空路の運航

##### (2) 快適で安全な公共交通の実現

- ① 高齢者等の移動円滑化のためのノンステップバス、福祉タクシーの導入、鉄道駅における内方線付点状ブロックの整備、ホームドアの設置等
- ② 地域鉄道の安全性向上に資する設備の更新等

##### (3) 地域公共交通ネットワーク形成に向けた計画策定等の後押し

- ① 地域における一層の連携・協働とイノベーションに向けた取組の促進を図るための新たな法定計画の策定に資する調査等※
- ② 地域におけるバリアフリー化の促進を図るための移動等円滑化促進方針等の策定に係る調査

##### (4) 地域公共交通特定事業に対する特例措置

国の認定を受けた鉄道事業再構築実施計画、地域公共交通再編実施計画等に基づく事業（地域鉄道の上下分離、地方路線バスの利便性向上、運行効率化等のためのバス路線の再編、デマンド型等の多様なサービスの導入等）

##### (5) 地域公共交通ネットワーク構築に向けた協働による取組に対する特例措置

交通圏全体を見据えた持続可能な地域公共交通ネットワークの実現に向け、都道府県と複数市町村を含む協議会が主体となった協働による先行的な取組



地域交通におけるさらなる連携・協働とイノベーション  
に向けた新たな制度的枠組みの構築  
(地域公共交通活性化再生法等見直し)

- (1) 地域公共交通に関する計画制度のあり方の見直し  
(2) 事業制度の柔軟化 等



あらゆる地域で、あらゆる人々が、自らの運転だけでなく、  
ニーズに対応した移動サービスを楽しむ社会の実現

(今後、交通政策審議会地域公共交通部会にて審議(予定))

＜関連事項＞ 財政投融资による支援制度

財政投融资の活用を図ることで、支援策を多様化し、地域の実情に即した地域公共交通ネットワークの再構築の取組を後押しする仕組みの充実を図る。(産業投資10百万円)

注) 以下については、それぞれ関連する支援事業がある。

- ・観光地や公共交通機関、宿泊施設における訪日外国人旅行者の円滑かつ快適な受入環境の整備の支援(訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(観光庁予算6,003百万円の内数))
- ・地域鉄道の安全性向上に資する設備の更新等の一部(鉄道施設総合安全対策事業(鉄道局予算9,291百万円の内数))

○ 被災した公共交通の復興の支援

【復興庁一括計上予算】(地域交通課)

要求額 722百万円

【東日本大震災復興特別会計】

【趣 旨】

東日本大震災の被災地に対しては、復旧・復興の進捗に応じた生活交通の確保・維持のために、引き続き柔軟な対応を図る。

【内 容】

- (1) 東日本大震災被災地域における幹線バス交通ネットワークの確保・維持について、特例措置により支援する。
- (2) 東日本大震災被災地域における地域内の生活交通の確保・維持について、地域内バス等の実証運行等を特例措置により支援する。
- (3) 福島県の原子力災害被災地域における避難住民の帰還を促進するため、幹線バス交通ネットワークの確保・維持について、特例措置により支援する。

○ 交通政策基本計画に基づく交通政策の総合的な推進

(交通政策課)

要求額 35百万円

【趣 旨】

平成 27 年に策定された交通政策基本計画を着実に推進するため、施策の進捗状況のフォローアップを行うとともに、取組の強化が必要な施策の調査・検討を行う。

【内 容】

(1) 交通政策基本計画全体のフォローアップ

交通政策基本計画をフォローアップするため、交通の動向に関するデータの作成・分析を強化するとともに、交通の動向に関するデータを活用しつつ、施策の進捗状況を白書としてとりまとめる。

(2) 交通政策基本計画のモード横断的な目標の達成に向けた取組の推進

交通政策基本計画のフォローアップや昨今の交通を取り巻く現状を踏まえ、地域における公共交通の活性化や生産性の向上、最先端の情報技術の交通分野全体への活用等、特にモードを横断して取組の強化が必要な施策に関する調査・検討を行う。

<取組の例>

- ・ 災害復旧時における緊急輸送体制に係る GTFS※を活用した情報提供の手法と体制整備
- ・ 高齢者等の移動手段の確保に向けた多様な輸送資源の活用方法
- ・ 貨客混載の普及に向けた課題の整理と推進体制の整備
- ・ 地域交通のモード横断の事業者間連携のためのガイドラインの策定 等

※ GTFS (General Transit Feed Specification) : バス事業者と経路検索等の情報利用者と情報の受渡しのための「標準的なバス情報フォーマット」。



## (2) 最新技術の活用による次世代モビリティの実現・物流の効率化の推進

- 日本版 MaaS の推進による地域や観光地の移動の利便性向上 **【拡充】**  
(モビリティサービス推進課)

要求額 1, 000 百万円

### 【趣 旨】

新たなモビリティサービスである MaaS (Mobility as a Service) ※の全国への普及を図り、地域や観光地の移動手段の確保・充実や公共交通機関の維持・活性化等を進めることを目的として、地域の実情に応じたモデルによる実証実験や MaaS の普及に必要な基盤づくりへの支援を行う。

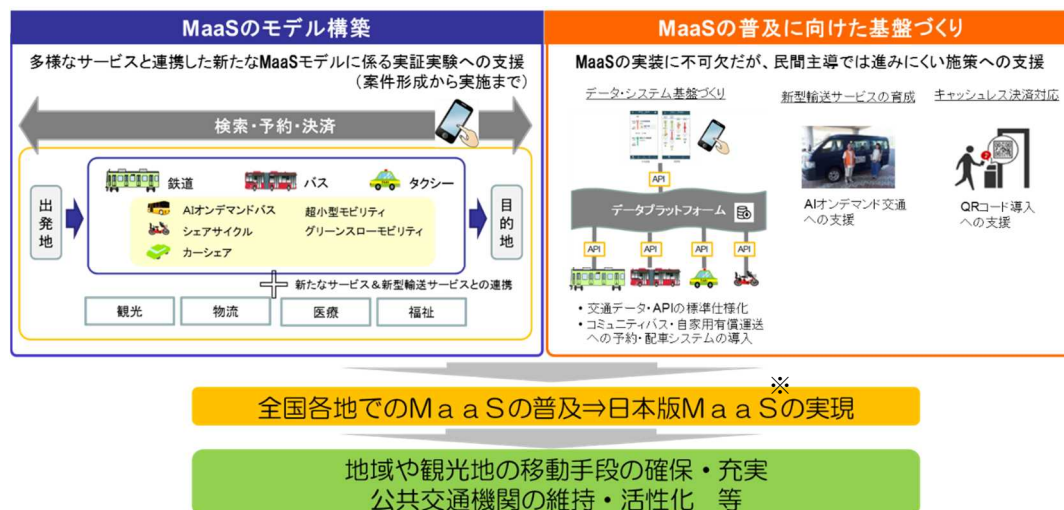
### 【内 容】

#### (1) 地域の実情に応じた MaaS モデルによる実証実験

新型輸送サービスを含む多様なサービスと連携した MaaS の実証実験の案件形成から実施までを支援し、地域の実情に応じた高付加価値な MaaS のモデル構築を図る。

#### (2) MaaS の普及に必要な基盤づくり

新型輸送サービスの立上げ、交通機関におけるキャッシュレス決済対応、交通データの標準仕様化等の MaaS の普及に必要な基盤づくりへの支援を行う。



※ MaaS (Mobility as a Service) : スマホアプリにより、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

※ 「日本版 MaaS」として、各地域の多様な MaaS サービスを全国的にネットワーク化するとともに、まちづくりや商業・観光等の多様なサービスとも連携することで、地域や旅行者にとって利便性の高い仕組みを目指している。

- サプライチェーンの最適化に向けた物流・商流データ基盤の構築等  
(戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 「スマート物流サービス」)  
(物流政策課)

要求額 28,000百万円の内数

【内閣府科学技術イノベーション創造推進費】

## 【趣 旨】

総合科学技術・イノベーション会議による、第2期戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) (平成30年度からの5年間) のプロジェクトとして採択された「スマート物流サービス」について、物流・商流データ基盤の構築等を行う。

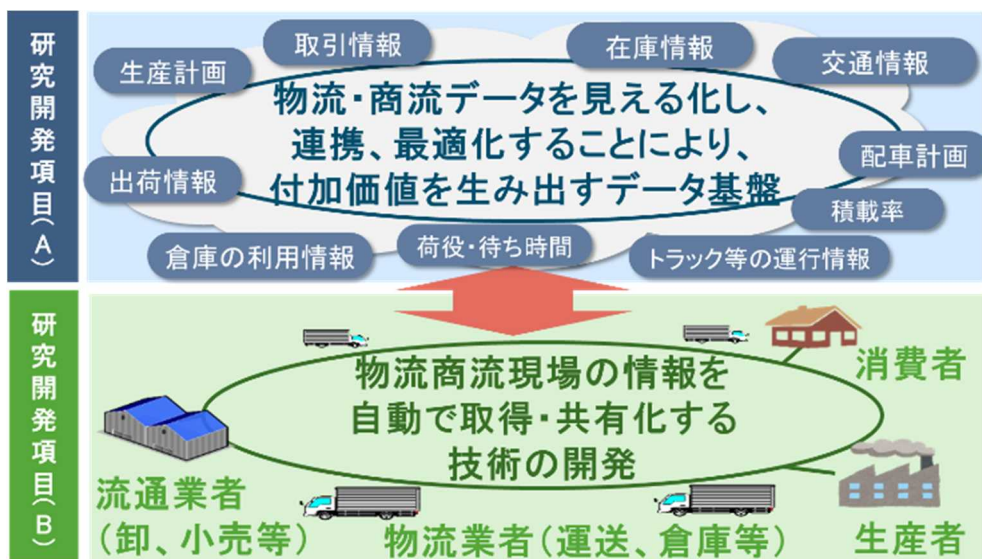
## 【内 容】

### (1) 物流・商流データ基盤の構築

生産から販売に至るサプライチェーン全体の効率性・生産性向上に貢献するために、サプライチェーンにおける様々な事業主・企業の多種多様で大量のデータを、高速かつ耐改ざん性・透明性・秘匿性を維持した上で、安定的に収集・蓄積・提供することができる物流・商流データ基盤を構築する。

### (2) 省力化・自動化に資する自動データ収集技術の開発

物流・商流データ基盤活用の根幹となるサプライチェーン上の各段階における個品単位の情報を生産から販売までシームレスかつ正確に把握し、トレーサビリティを確保する自動データ収集技術の開発を行う。



○ 過疎地域等における無人航空機を活用した物流の実用化 新規  
**【環境省連携施策】**（物流政策課）

物流分野における CO2 削減対策促進事業

**要求額 350 百万円**

**【エネルギー対策特別会計】**

**【趣 旨】**

過疎地域等における輸配送の効率を向上させるとともに、買い物における不便を解消する等生活の利便を抜本的に改善させ、併せて運輸部門の温室効果ガスを削減するため、新たな物流手段として無人航空機の導入等を支援する。

**【内 容】**

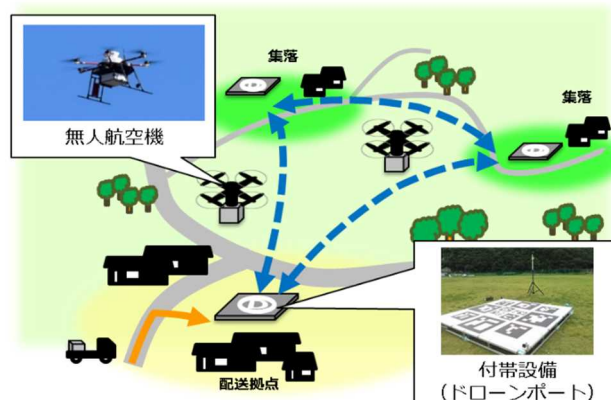
過疎地域等における無人航空機を活用した物流の実用化に取り組む民間事業者・団体※に対し、計画策定経費及び機材・設備導入経費の一部を補助する。

※ 地方公共団体と共同申請をする者に限定

＜補助対象＞ ①計画策定経費  
 ②機材・設備導入経費（改修経費を含む）

＜補 助 率＞ ①定額（上限 500 万円）  
 ②1/3

**過疎地域等におけるドローン物流（イメージ）**



宅配ロッカー型電子鍵付  
ドローンポート



風向風速計



ドローン物流システム

## ○ 物流生産性向上の推進 **拡充**

(物流政策課・参事官(物流産業))

要求額 100百万円

### 【趣 旨】

生産性向上を通じ人手不足等の課題を克服して、持続可能な「強い物流」を実現するため、物流総合効率化法の認定を受けた関係者の取組への支援を行うほか、新たな物流効率化策について調査を行う。

### 【内 容】

#### (1) 物流総合効率化支援事業(補助事業)

物流総合効率化法に基づく取組について以下のとおり支援。

##### ① 計画策定支援事業

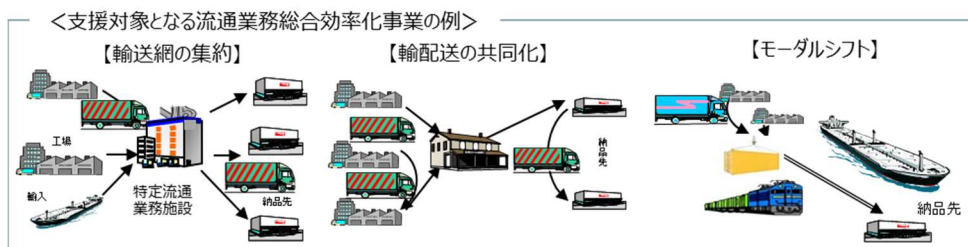
総合効率化計画の策定に必要な協議会の開催や短期間の実証運行等に要する経費を補助。

##### ② モーダルシフト等支援事業

物流総合効率化法の認定を受けたモーダルシフト等の取組について、初年度の運行経費を補助。

##### ③ 関連設備導入支援事業

物流総合効率化法の認定を受けた庫内作業フロー改善に必要な設備投資に係る経費を補助。



#### (2) 物流生産性向上促進調査事業(調査事業)

##### ① 幹線輸送の効率化

関係者の連携・協働を可能とするサテライトセンターやダブル連結トラック等の活用による新たな幹線輸送の構築に向けた指針となる手引きを作成。

##### ② スマートラストワンマイル配送モデル構築

再配達削減に向け、新たな受け取りモデル構築や、新しい貨客混載モデル等の実証実験を行い、効果を整理・集約した手引きを作成。



注) このほか、物流生産性向上の推進(財投機関未定: 500百万円)がある。



○ 関係者の連携協働による物流の効率化  
(バース予約調整システムの導入支援)

【環境省連携施策】（物流政策課）

物流分野における CO2 削減対策促進事業

要求額 115 百万円

【エネルギー対策特別会計】

【趣 旨】

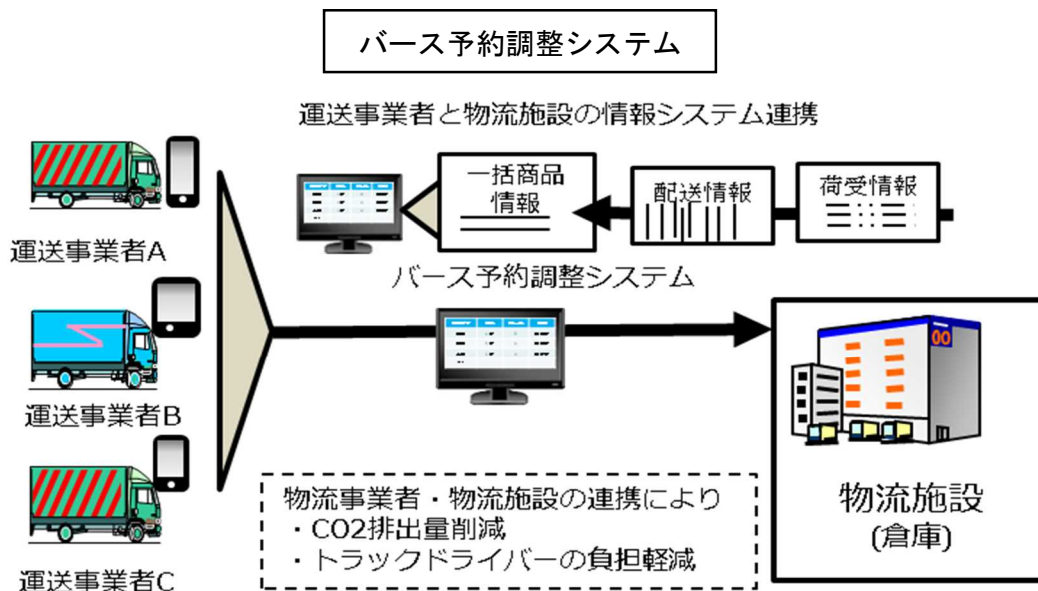
営業倉庫等の物流施設における荷待ちトラックによる渋滞や非効率な輸送等の課題を解決し、併せて運輸部門の温室効果ガスを削減するため、運送事業者と物流施設との連携や効率的な業務執行を可能とするための情報システムの構築を促進する。

【内 容】

トラックの荷役順番や荷姿、荷量等の荷物情報を管理するためのバース予約調整システムの構築費用の一部を補助する。

＜補助対象＞ 設備導入経費（営業倉庫におけるバース予約調整システム（複数の物流事業者・物流施設による荷物情報共有システムの構築・改修費を含む））

＜補 助 率＞ 1/2



＜導入のメリット＞

- ・ 荷待ちによる渋滞やアイドリングの削減により CO<sub>2</sub>排出量を削減。ドライバーの労働時間を削減。
- ・ 物流施設側も予約に応じた事前の荷受け・荷揃え準備や、バースの指定による効率的な作業動線の確保など、入出荷作業を効率化。

○ 効率的な輸送モード等への転換

i) 高品質低炭素型鮮度保持コンテナ等の導入支援

【環境省連携施策】（物流政策課）

物流分野における CO2 削減対策促進事業

要求額 200百万円

【エネルギー対策特別会計】

【趣 旨】

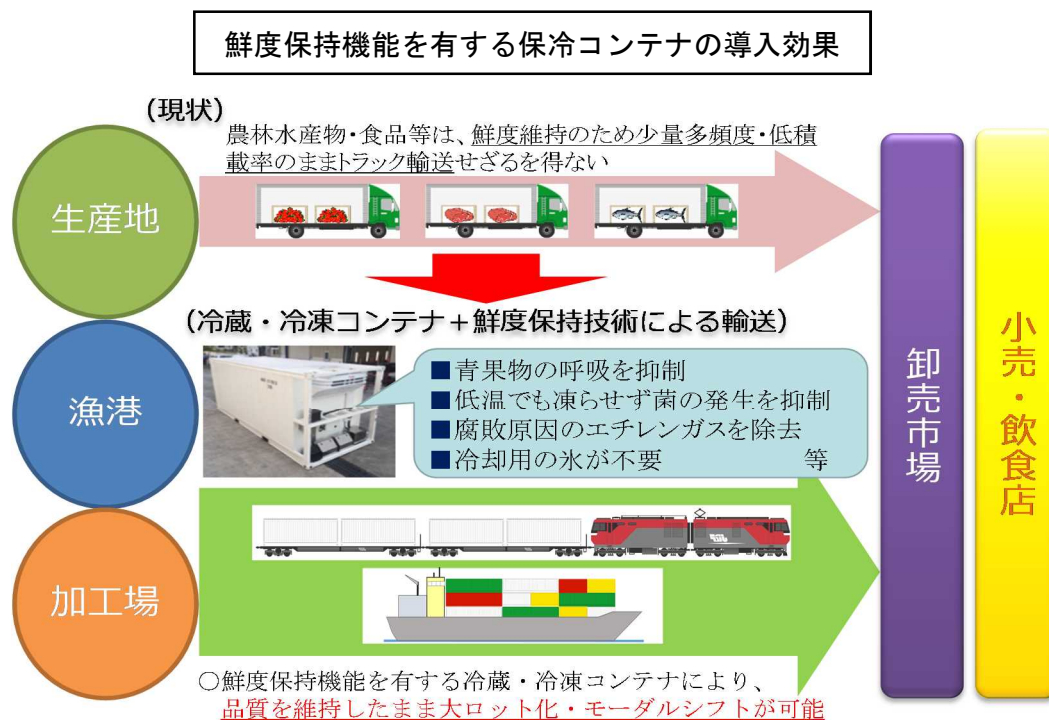
温室効果ガスの削減による地球温暖化の防止のほか、労働力不足対策に資する効率的な物流体系の構築を図るため、最新の鮮度保持輸送技術等を活用した高品質な冷蔵・冷凍コンテナを普及させることにより、積載率の向上や海上・鉄道輸送へのモーダルシフトを促進する。

【内 容】

農林水産物、食品等のコールドチェーンにおいて、鮮度保持機能を有する保冷コンテナ（海上・鉄道の各貨物輸送用）を導入しようとする民間事業者等に対し、当該設備導入経費の一部を補助する。

<補助対象> 設備導入経費（海上・鉄道の各貨物輸送用保冷コンテナ）

<補 助 率> 一般の保冷コンテナとの差額の 1/2



- 効率的な輸送モード等への転換  
ii) 連結トラックの導入支援

【環境省連携施策】（物流政策課）

物流分野における CO2 削減対策促進事業

要求額 850百万円の内数

【エネルギー対策特別会計】

### 【趣 旨】

温室効果ガスの削減による地球温暖化の防止のほか、労働力不足に対応した効率的な物流体系の構築を図るため、ドライバー1人で大型トラック約2台分まで輸送でき、輸送効率の向上に資する連結トラックの普及を促進する。

### 【内 容】

連結トラックを導入しようとする民間事業者等に対し、設備導入経費の一部を補助する。

<補助対象> 設備導入経費（連結トラック（トラクター及びトレーラー））

<補 助 率> 1/3

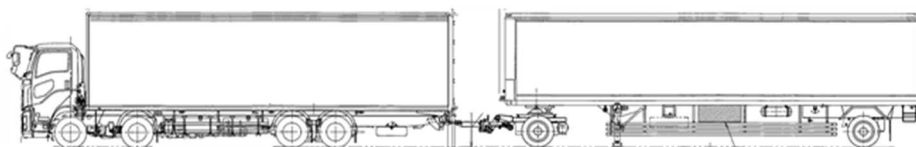
#### ダブル連結トラックの導入効果

##### ●大型トラック（12m超車両）



1台で2台分の貨物が輸送可能な  
ダブル連結トラックへ  
**約40%のCO2排出量の削減が可能**

##### ●ダブル連結トラック（25m車両）



○ 効率的な輸送モード等への転換

iii) スワップボディコンテナ車両の導入支援

【環境省連携施策】（物流政策課）

物流分野における CO2 削減対策促進事業

要求額 850 百万円の内数

【エネルギー対策特別会計】

【趣 旨】

輸送業務・荷役業務の効率化や、中継輸送の促進を図り、温室効果ガスの削減による地球温暖化の防止を図るとともに、ドライバーの負担軽減による労働環境の改善等を通じて、効率的な物流体系の構築を図るため、車体と荷台を簡易に分離できるスワップボディコンテナ車両の普及を促進する。

【内 容】

スワップボディコンテナ車両を導入しようとする民間事業者等に対し、設備導入経費の一部を補助する。

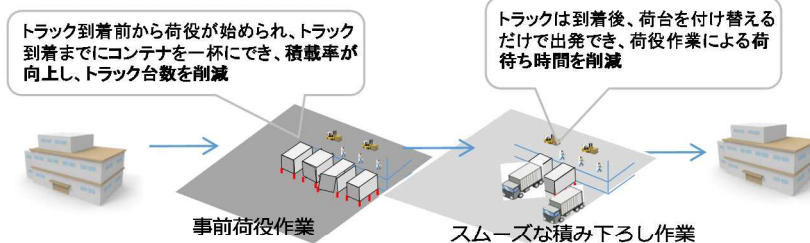
<補助対象> 設備導入経費（スワップボディコンテナ車両）

<補 助 率> 一般的なトラックとの差額の 1/2

スワップボディコンテナ車両



【活用例①: 物流施設での活用】



【活用例②: 中継輸送での活用】





○ 効率的な輸送モード等への転換

iv) 冷凍冷蔵倉庫への省エネ型自然冷媒機器の導入支援

【環境省連携施策】（参事官（物流産業））

脱フロン・低炭素社会の早期実現のための省エネ型自然冷媒機器導入加速化事業

要求額 7, 500百万円の内数

【エネルギー対策特別会計】

【趣 旨】

地球温暖化の防止に向けて、冷凍冷蔵倉庫において排出されてきたフロン類（ハイドロクロロフルオロカーボン（HCFC）、ハイドロフルオロカーボン（HFC））の削減を進めるため、代替する自然冷媒（水、空気、アンモニア、CO<sub>2</sub>等）を使用した省エネ自然冷媒の冷凍空調機器の導入を行おうとする冷凍冷蔵倉庫に対して支援を行う。

【内 容】

冷凍冷蔵倉庫で使用する省エネ型自然冷媒機器を導入しようとする民間事業者等に対して、当該機器導入に要する経費の一部を補助する。

＜補助対象＞ 設備導入経費（省エネ型自然冷媒機器）

＜補 助 率＞ 1/3 以下

省エネ自然冷媒冷凍等装置導入事例



- 省エネに取り組む事業者への積極的な支援により、HCFC が市中に7割残るとされる冷凍冷蔵倉庫業界への機器の転換を促し、5割以下までの引き下げを目指す。
- 自然冷媒機器の普及が図られることから、大量生産による機器価格の低廉化が期待され、将来的な自立的導入に寄与する。

○ 効率的な輸送モード等への転換

v) 自立型ゼロエネルギー倉庫モデルの導入支援 **新規**  
【環境省連携施策】（参事官（物流産業））

物流分野における CO2 削減対策促進事業

要求額 1, 550 百万円

【エネルギー対策特別会計】

【趣 旨】

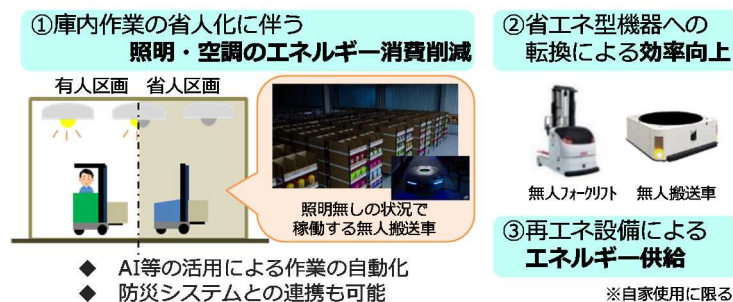
倉庫業全体における環境負荷削減を図るとともに、労働力不足や防災・減災といった地域の課題の解決にも貢献するため、補助事業実施による省人化・省エネ化の同時達成事例を創出・横展開することで自立型ゼロエネルギー倉庫モデルの普及を図る。

【内 容】

①無人化に伴う照明等のエネルギー消費量の削減、②省エネ型省人化機器への転換によるエネルギー効率の向上、③再エネの導入を同時に行う事業について、その高額な初期コストを補助することにより、自立型ゼロエネルギー倉庫モデルを構築・展開する。

＜補助対象＞ 物流施設における省エネ型省人化機器及び再生可能エネルギー設備等の同時導入を行う事業

＜補 助 率＞ 1/2



### （３）交通・物流ネットワークの一層の充実

- アジアを中心とした質の高い物流システムの構築・国際標準化の推進  
（参事官（国際物流））

要求額 ２０百万円

#### 【趣 旨】

我が国製造業の越境サプライチェーンの構築、物流事業者の海外事業展開ニーズに対応し、我が国の国際物流システムのシームレス化・更なる海外展開を官民一体となって戦略的に推進する。

特に農林水産物・食品等の低温物流（コールドチェーン物流）については、規格を我が国から提案する。

#### 【内 容】

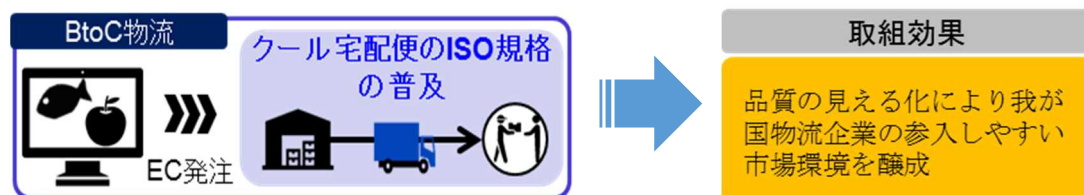
##### （１）シームレスな国際物流システムの構築

我が国産業の輸出や海外展開の前提となるシームレスな国際コールドチェーン物流を実現するため、国際輸送で利用される BtoB コールドチェーン物流サービスのアジア各国における品質や市場環境等を調査した上で、「日 ASEAN コールドチェーンガイドライン」等をもとに、BtoB コールドチェーン物流サービスの規格を策定・普及する。



##### （２）物流システムの国際標準化による海外展開の推進

E コマースの発展等により BtoC コールドチェーン物流サービス（クール宅配便）の需要の拡大が見込まれる ASEAN 等の新興国において、品質の見える化により我が国物流企業の参入しやすい市場環境を醸成するため、令和２年度発行が見込まれる我が国発のクール宅配便の ISO 規格の普及を戦略的に推進する。



○ パイロット輸送や政策対話による物流産業の海外展開支援

【国際政策課・海外プロジェクト推進課連携施策】

(参事官（国際物流）)

官民連携における海外交通プロジェクトの推進

要求額 2,072百万円の内数

【趣 旨】

政府の「インフラシステム輸出戦略」等を踏まえ、物流需要が拡大する海外各国において、制度やインフラ面等での課題の改善、我が国物流サービスのプロモーション等により事業展開の前提となる環境を整備するため、政策対話等やパイロット事業を実施する。

【内 容】

(1) 政策対話等の実施

政府レベルでの政策対話を実施し、相手国・地域における物流に関する制度の改善等を働きかけるとともに、物流ワークショップを開催し、サービス品質や環境面での我が国物流サービスの優れた特色を効果的にアピールするなど、我が国物流システムの海外展開の環境整備を図る。

＜ASEAN 各国等との政策対話＞



＜物流ワークショップ＞



(2) 物流パイロット事業

国土交通省インフラシステム海外展開行動計画 2019 に基づき、現地で実証実験を行い、官民一体となって事業化に向けた課題の特定と解決を図ることを通じてビジネスモデルの確立を行うパイロット事業を戦略的に展開する。

＜シベリア鉄道利用パイロット輸送＞



(シベリア鉄道)



(パイロット輸送出発式)



○ 手ぶら観光カウンターの整備・機能強化の支援

【観光庁連携施策】（物流政策課）

要求額 6,003百万円の内数

【趣 旨】

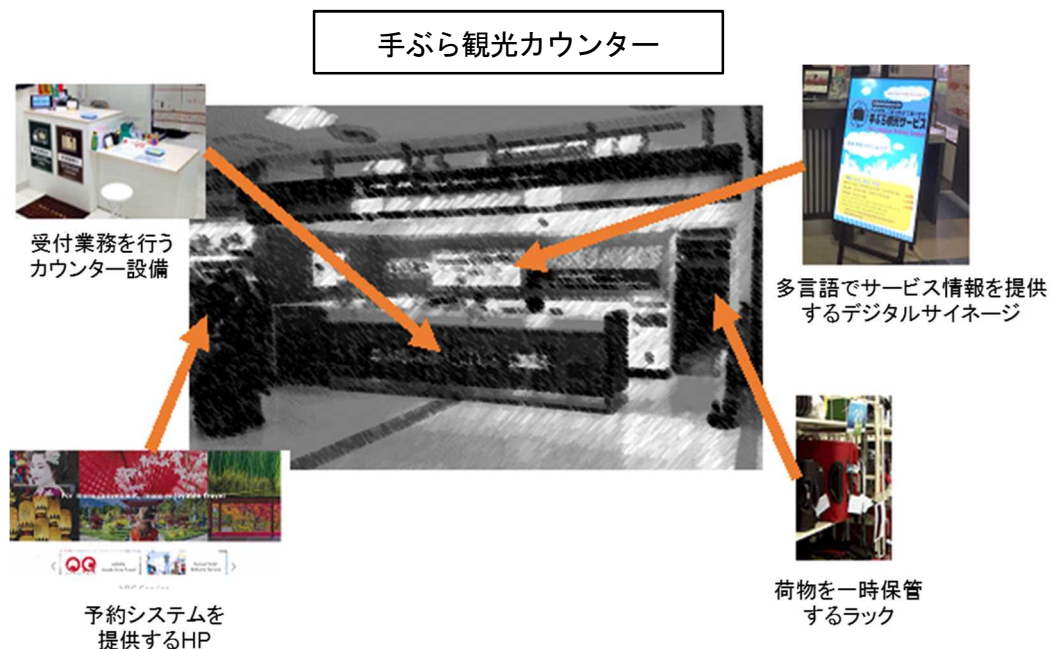
訪日外国人旅行者 4,000 万人、6,000 万人の実現に向けて、訪日外国人旅行者が鉄道等で大きな荷物を持ち運ぶ不便を解消するため、日本の優れた宅配サービスを活用し、空港、駅、商業施設等での荷物の一時預かり及び配送を可能とする「手ぶら観光」を推進する。

【内 容】

主要交通結節点等における手ぶら観光カウンターの整備・機能強化に対する支援を行う。

＜補助対象＞ 手ぶら観光カウンターの整備・機能強化、予約システムを提供する HP 作成や案内標識等の多言語化に要する経費

＜補 助 率＞ 1/3



○ 物流分野における高度人材の育成手法の開発

【国土交通政策研究所連携施策】（物流政策課）

要求額 120百万円

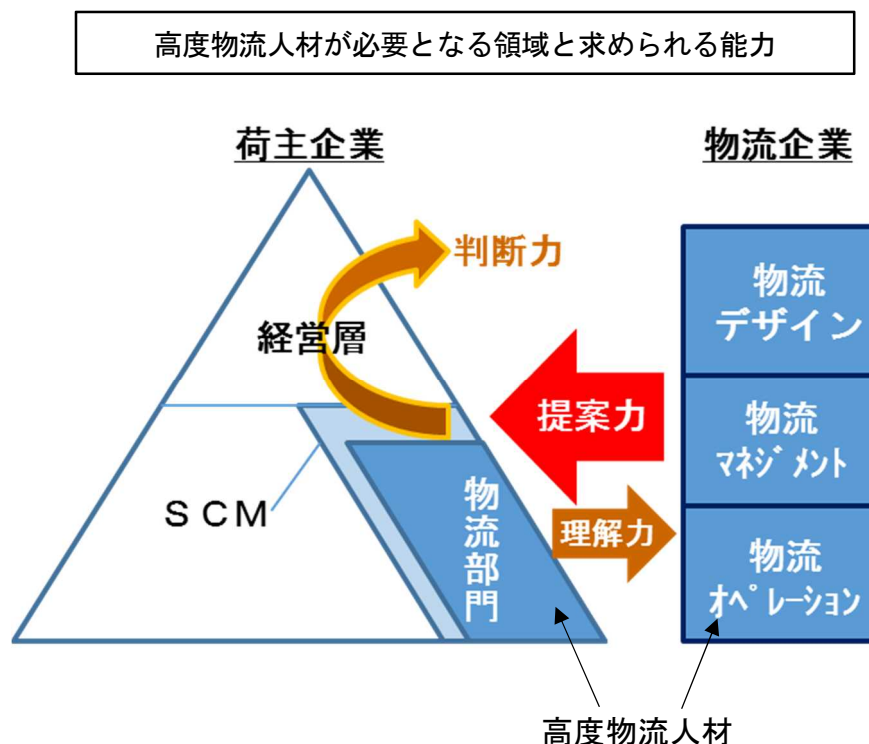
【趣 旨】

物流分野では、情報化・グローバル化の進展、AI等の新技術の発展等による事業運営環境の変化に対応した高度物流人材\*の育成が求められていることから、欧米や中国を参考にしつつ、高度物流人材の育成手法の開発を進める。

※ 持続可能な物流を構築するために、サプライチェーンの課題等を全体最適の視点から発見し、AI、ビッグ・データ解析等の最先端技術を活用することで課題の分析を行い、複数の解決方策を構想し実行に移すことができる高度な人材。

【内 容】

我が国の現状や海外における動向、具体事例等について調査を行い、高度物流人材の育成手法を開発しとりまとめる。



## ○ 災害に強い物流システムの構築

(参事官 (物流産業) )

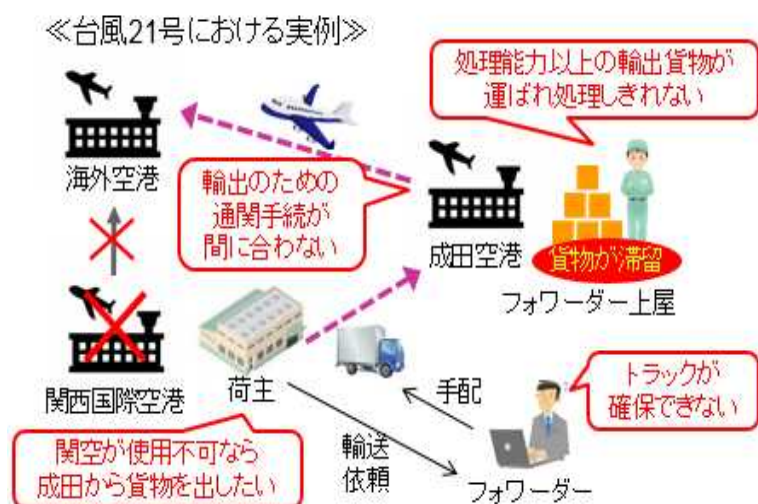
要求額 17百万円

### 【趣 旨】

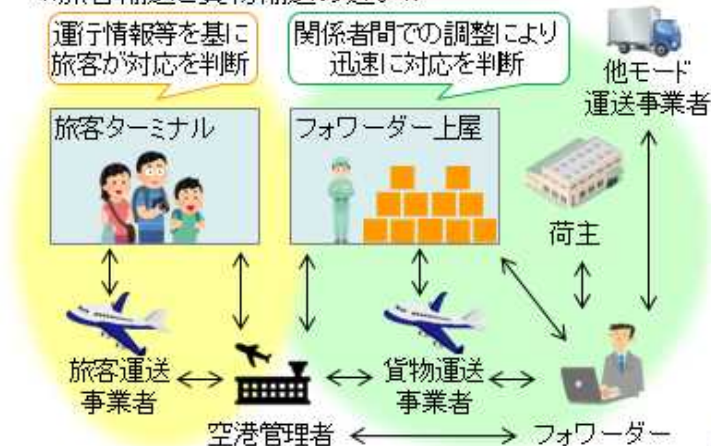
平成 30 年 7 月の西日本豪雨や台風 21 号等の災害時において、物流関係者間の情報共有や早期再開に向けた体制の確保が不十分であったことを踏まえ、災害時におけるサプライチェーンの確実な維持に向けた、貨物利用運送事業者をはじめとする物流関係者間の連携体制のあり方等について調査を行う。

### 【内 容】

成田空港が機能不全に陥った場合を想定し、空港 BCP との整合性を確保しつつ、具体的な被災想定のもと災害時における物流関係者間の連携について計画策定を行い、策定した計画に沿って机上訓練等を実施する。



### 《旅客輸送と貨物輸送の違い》





### 3. 税制改正要望

#### ○ 物流総合効率化法の認定計画に基づき取得した事業用資産に係る特例措置の延長

【国税】所得税・法人税    【地方税】固定資産税・都市計画税  
(物流政策課・参事官(物流産業))

#### 【趣 旨】

近年の物流に対する多様なニーズに着実に応えつつ、物流分野における労働力不足、地球温暖化等の課題に適確に対応するため、物流総合効率化法に基づき、物流関係者の連携による省労働力型の物流体系の構築を促進する。

#### 【内 容】

本税制特例措置を2年間延長する。

##### (1) 輸送と保管の連携が図られた倉庫の整備促進

- ① 所得税・法人税の割増償却を5年間 10%
- ② 倉庫に係る固定資産税・都市計画税の課税標準を5年間 1/2
- ③ 附属機械設備(到着時刻表示装置等)に係る固定資産税の課税標準を5年間 3/4

##### (2) 旅客鉄道を利用した新たな物流システム構築

- ① 貨物用鉄道車両に係る固定資産税の課税標準を5年間 2/3  
(※中小鉄軌道事業者は5年間 3/5)
- ② 貨物搬送装置に係る固定資産税の課税標準を5年間 3/5





